



2021年4月28日

各位

上場会社名 株式会社クイック
代表者 代表取締役会長 和納 勉
(コード番号：4318 東証第一部)
問合せ先責任者 上席執行役員管理本部長兼経理部長
来島 健太
(TEL：06-6366-0919)

通期業績予想との差異および剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2021年1月29日付「業績予想の修正および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」にて発表いたしました2021年3月期通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円 銭)
前回発表予想 (A)	19,500	1,753	1,940	1,315	69.81
今回実績値 (B)	20,089	1,867	2,124	1,464	77.73
増減額 (B-A)	589	114	184	149	
増減率 (%)	3.0	6.5	9.5	11.3	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	21,035	2,930	3,009	2,074	110.05

(2) 理由

2021年3月期の当社グループを取り巻く環境につきましては、2021年1月の緊急事態宣言の再発出に加え、第4波への懸念等、依然としてコロナ禍の終息時期の見通しが立たないことから、国内外ともに景気の先行きは不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループが強みを持つ医療・福祉分野や建設分野、半導体分野等の専門職の採用ニーズは引き続き高く、また、コロナ禍でも業績を伸ばすITサービス企業や春先のイベント集客を考える企業等では販促活動を強化する動きも見られました。

これに伴い、主力の人材サービス事業及びリクルーティング事業、情報出版事業等の業績が改善したことで、売上高、利益とも前回発表予想を上回りました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年1月29日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり 配当金	26円 (普通配当20円) (記念配当6円)	22円 (普通配当16円) (記念配当6円)	23円
配当金の総額	490百万円	—	433百万円
効力発生日	2021年6月23日	—	2020年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置付け、財務体質の強化や今後の事業展開等を考慮した上で、親会社株主に帰属する当期純利益の40%を配当性向の目処とすることを基本方針としております。

今回発表の2021年3月期通期連結業績予想と実績との差異のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回ったことに伴い、普通配当の1株当たり期末配当につきましても、上記方針に基づき、2021年1月29日付「業績予想の修正および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」の予想から4円増額して20円に修正し、2021年3月期の1株当たり期末配当を26円(普通配当20円、記念配当6円)とすることを決議いたしました。

この結果、2021年3月期の1株当たり年間配当金は、第2四半期末の配当実績および2020年10月12日付「創業40周年記念配当に関するお知らせ」にて発表いたしました創業40周年記念配当と合わせまして、1株当たり44円(普通配当32円、記念配当12円)となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
当期実績 (2021年3月期)	18円 (普通配当12円) (記念配当6円)	26円 (普通配当20円) (記念配当6円)	44円 (普通配当32円) (記念配当12円)
前期実績 (2020年3月期)	22円	23円	45円

以上